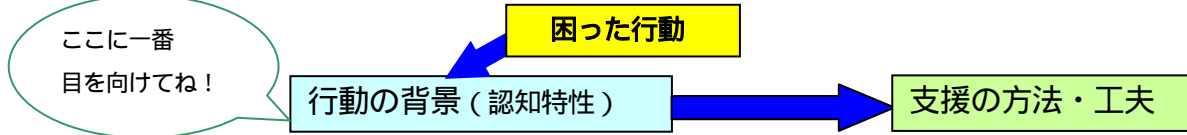


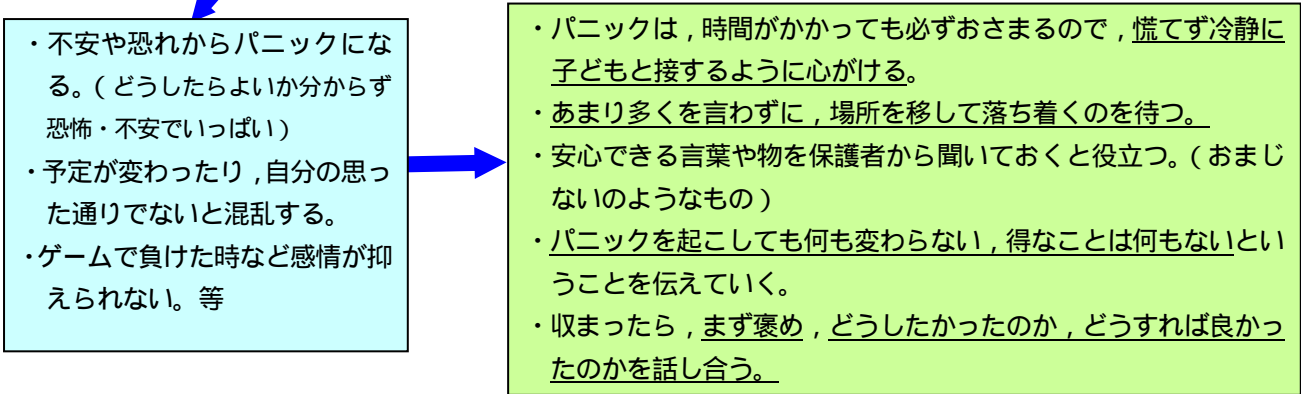
## No2 パニックを起こしやすい子・こだわりの強い子への対応

いろいろな困った行動には、それぞれ訳があります。同じような行動でも、背景となることが違えば、対応も異なります。背景をよく理解して対応することが大切です。



### (1) パニックを起こしやすい子への対応

興奮するとあばれるなど、何を言っても聞き入れない



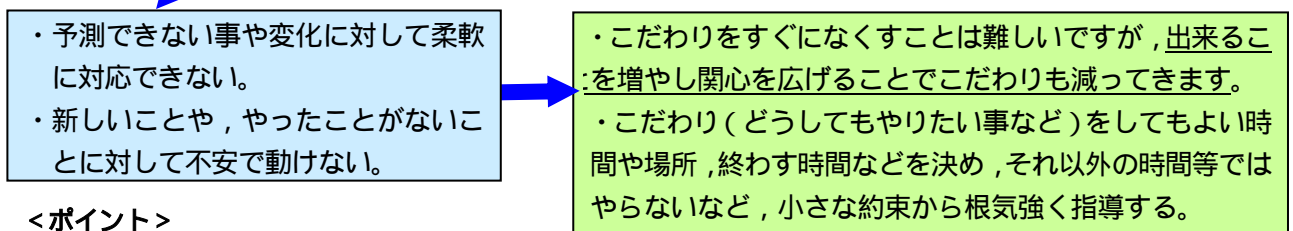
<ポイント> 前もって、パニックにならなくてもすむ対応を工夫してみるとよいかもしれません！

例

- ・ やらなくてはならないことをいっぺんに言ったりして、混乱を拡大しないように注意する。
- ・ 前もって、やり方やルール、予定などを分かり易く視覚的に教えておく。
- ・ 予定が変更になりそうな時は、早めに、何が、どう変更になるか分かり易く伝え、黒板等に書いておき、注意を促すようにする。
- ・ 普段から、感情を言葉で表現できるようにしたり、パニックになりそうな時に自分なりの回避の方法(水を飲みに行く、「ドンマイ、ドンマイ」とつぶやく)等を練習したりしておく。

### (2) こだわりの強い子への対応

自分の好きな事や決まったやり方をなかなか変えられない



<ポイント>

- ・ 周囲がとても困るようなこだわりについては、こだわりを変える手立てが必要ですが、こだわりがよい面に現れることもあるので、そこをうまく活用し長所に変えていくようにします。

例・「～をやったら好きな～をやれる」と決まり事を作る。

- ・ 几帳面に片づける子は係活動のお手本にする。 等

